平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場会社名　株式会社菱友システムズ　　上場取引所　大
コード番号　4685　　URL　http://www.ryoyu.co.jp/
代表者　　(役職名) 取締役社長　　(氏名) 八坂　直樹
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長　　(氏名) 山本　陽茂　　TEL 03-5421-5811
四半期報告書提出予定日　　平成25年2月13日
配当支払開始予定日　　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	20,178	1.4	50	△77.5	86	△63.1	7	△23.9
24年3月期第3四半期	19,909	3.4	224	―	236	―	9	―

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　29百万円　(121.5%)　24年3月期第3四半期　13百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	1.14	―
24年3月期第3四半期	1.50	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	12,360	5,442	39.8	773.97
24年3月期	13,450	5,501	37.0	784.66

(参考) 自己資本　　25年3月期第3四半期　4,913百万円　　24年3月期　4,981百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	12.50	12.50
25年3月期	―	0.00	―		
25年3月期(予想)				12.50	12.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	△2.4	600	△33.1	600	△34.1	360	21.6	56.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

（注）詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	6,355,000 株	24年3月期	6,355,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	6,286 株	24年3月期	6,286 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	6,348,714 株	24年3月期3Q	6,348,724 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、上記予想に関する事項は添付資料の4ページを参照して下さい。

（金額単位の変更について）
当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更しました。なお、比較を容易にするため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度についても百万円単位に組み替え表示しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 4
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 4
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間のわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要等による内需の底堅さや当第３四半期後半には新政権の経済政策への期待感から円安・株高等があり、景気は回復基調であったものの、欧州の金融不安や中国・インドにおける景気減速、領土問題における近隣諸国との関係悪化等による下振れリスクが高まっております。

一方で当情報サービス産業界においては、顧客のＩＴ投資が上向きつつあり、需要は微増で推移しました。

当社グループは、このような事業環境のなか、受注は前年同期並みを確保し、売上高は201億78百万円となりましたが、システム開発事業における開発費用の増加等があり、損益は前年同期より悪化し、営業利益50百万円、経常利益86百万円、四半期純利益７百万円にとどまりました。（前年同期は、売上高199億９百万円、営業利益２億24百万円、経常利益２億36百万円、四半期純利益９百万円。）

セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔情報処理サービス事業〕

当事業は、操業度の向上により、売上高は53億39百万円（前年同期比4.2%増）となったものの、主要顧客からのコスト削減要請等により採算が悪化し、営業利益は38百万円（前年同期比20.8%減）にとどまりました。

〔システム開発事業〕

当事業は、受注が堅調に推移し、売上高は85億９百万円（前年同期比2.9%増）となったものの、一部業務において開発費用が増加したため損益が悪化し、営業利益は２億30百万円（前年同期比49.7%減）にとどまりました。

〔システム機器販売事業〕

当事業は、受注競争の激化により一般顧客からの受注が減少し、売上高は64億55百万円（前年同期比2.3%減）となり、経費削減等により損益改善に努力したものの、営業損失は２億18百万円（前年同期営業損失は２億81百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて10億90百万円減少し123億60百万円となりました。受取手形及び売掛金の減少が主な要因となっております。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて10億31百万円減少し69億18百万円となりました。買掛金、未払費用の減少が主な要因となっております。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて58百万円減少し54億42百万円となりました。利益剰余金の減少が主な要因となっております。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想については、平成24年5月14日付公表の決算短信に記載した業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,181	733
受取手形及び売掛金	6,158	4,179
商品	272	410
仕掛品	299	976
預け金	1,073	1,538
その他	936	1,021
貸倒引当金	△13	△2
流動資産合計	9,907	8,856
固定資産		
有形固定資産	1,477	1,416
無形固定資産	236	200
投資その他の資産		
その他	1,828	1,893
貸倒引当金	－	△6
投資その他の資産合計	1,828	1,887
固定資産合計	3,542	3,504
資産合計	13,450	12,360
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,439	913
未払費用	2,320	1,527
未払法人税等	149	37
工事損失引当金	25	5
その他	561	863
流動負債合計	4,496	3,347
固定負債		
退職給付引当金	3,281	3,442
役員退職慰労引当金	119	79
その他	52	50
固定負債合計	3,453	3,571
負債合計	7,949	6,918
純資産の部		
株主資本		
資本金	685	685
資本剰余金	250	250
利益剰余金	4,470	4,398
自己株式	△3	△3
株主資本合計	5,402	5,330
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	10
土地再評価差額金	△426	△426
その他の包括利益累計額合計	△420	△416
少数株主持分	519	528
純資産合計	5,501	5,442
負債純資産合計	13,450	12,360

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	19,909	20,178
売上原価	16,775	17,358
売上総利益	3,133	2,820
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	1,411	1,385
その他	1,497	1,384
販売費及び一般管理費合計	2,909	2,769
営業利益	224	50
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	2	2
投資有価証券売却益	－	28
その他	8	3
営業外収益合計	13	38
営業外費用		
支払利息	0	0
固定資産除却損	0	0
その他	－	0
営業外費用合計	1	1
経常利益	236	86
特別損失		
固定資産売却損	5	－
特別損失合計	5	－
税金等調整前四半期純利益	230	86
法人税等	212	61
少数株主損益調整前四半期純利益	17	25
少数株主利益	8	17
四半期純利益	9	7

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	17	25
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	4
土地再評価差額金	0	－
その他の包括利益合計	△4	4
四半期包括利益	13	29
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	5	11
少数株主に係る四半期包括利益	8	17

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	情報処理サービス事業	システム開発事業	システム機器販売事業	計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	5,091	8,270	6,547	19,909	－	19,909
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	34	0	59	94	△94	－
計	5,125	8,270	6,607	20,004	△94	19,909
セグメント利益又は損失（△）	48	457	△281	224	－	224

（注）１．セグメント間取引消去によるものです。
２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	情報処理サービス事業	システム開発事業	システム機器販売事業	計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	5,268	8,509	6,400	20,178	－	20,178
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	70	－	55	125	△125	－
計	5,339	8,509	6,455	20,304	△125	20,178
セグメント利益又は損失（△）	38	230	△218	50	－	50

（注）１．セグメント間取引消去によるものです。
２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。